Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

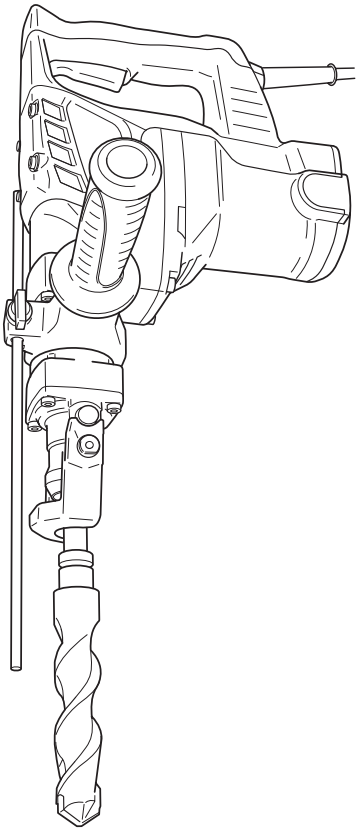
取扱説明書

用途
- ●コンクリートの穴あけ
- ●アンカ下穴の穴あけ
- ●コンクリートのハツリ、破砕、溝掘り、角出し、切断、はがし

二重絶縁

日立ハンマドリル

38 mm DH 38SS ［六角シャンクタイプ］



このたびは日立ハンマドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

はじめに
- 電動工具の安全上のご注意 ……1
- 二重絶縁について ……4
- 本製品の使用上のご注意 ……4
- 各部の名称 ……5
- 標準付属品 ……6
- 仕様 ……6
- 別売部品 ……7

使い方
- ご使用前の点検 ……9
- 工具の取付け・取りはずし ……10
- 穴をあける ……11
- ハツリ・破砕する ……12

使いこなし
- アンカの穴あけ・打ち込み作業方法 ……13
- テーパシャンクアダプタの使い方 ……14
- コアビットの使い方 ……15

その他
- 保守・点検 ……17
- ご修理のときは ……裏表紙

HITACHI

⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⚠警告

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
  手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⚠警告

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に ⧈ マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
- 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。

② **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
- 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

③ **使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。**
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

④ **使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。**
- けがの原因になります。

⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑦ **シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。**

⚠注意

① **工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
- 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

③ **作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。**

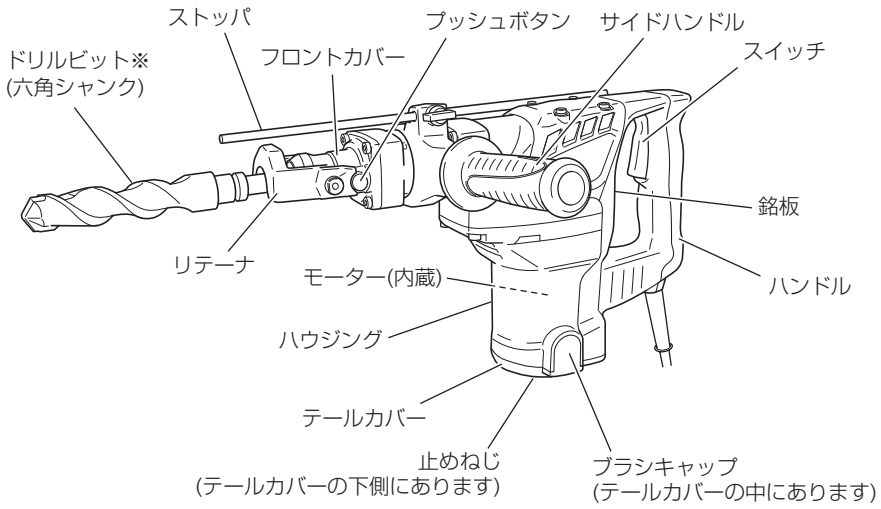
④ **作業直後の工具類は高温になっているので、触れないでください。**
- やけどの原因になります。

⑤ **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。**
- 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

⑥ **運転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- けがの原因になります。

⑦ **作業の際、機体を無理に押し付けないでください。**
- 先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。

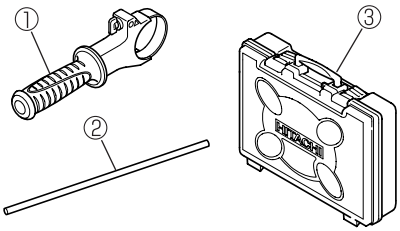
各部の名称



※ドリルビットは別売りです

標準付属品

① サイドハンドル …… 1個
② ストッパ …… 1個
③ プラスチックケース …… 1個



仕　様

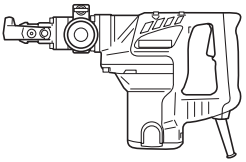
使用電源	単相交流　50／60Hz 共用　　電圧　100 V
穴あけ能力	ドリルビット 38 ㎜、コアビット 105 ㎜
全負荷電流	11A
消費電力	1050 W
無負荷回転数	620 min^{-1} {回／分}
全負荷打撃数	2800 min^{-1} {回／分}
モーター	単相直巻整流子モーター
質量	6.4 kg（コード、サイドハンドルを除く）
コード	2心キャブタイヤケーブル 5 m
振動3軸合成値 ※1	回転＋打撃　19.7 m／s^2 ※2　打撃　14.5 m／s^2 ※2

※1：振動3軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値）については、
JEMA［一般社団法人日本電機工業会］
ウェブサイト：http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html
をご参照ください。
※2：振動3軸合成値は、EN60745−2−6規格に基づき測定しています。

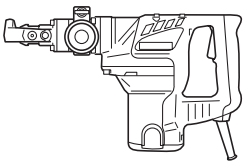
別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください）

用途に応じたアタッチメントをご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。

先端工具	接続工具
●コンクリート、石材の穴あけ ドリルビット（六角シャンク）	
●大径穴あけ ガイドプレート ＋ センタピン ＋ コアビット （P15 参照）	コアビットシャンク （六角シャンク） （P15 参照）
●アンカ下穴あけ ドリルビット （テーパシャンク） （P14 参照）	テーパシャンクアダプタ （六角シャンク） コッタ （P14 参照）
●自穿孔用アンカ作業 市販自穿孔用アンカ	アンカアダプタ ドリフトキー （P13 参照）
●ケミカルアンカ用ボルト打ち込み 市販ソケット	ケミカルアンカアダプタ （六角シャンク）



先端工具	接続工具
●破砕作業 六角ブルポイント 丸ブルポイント	
●溝切り・角出し作業 コールドチゼル	
●切断・はがし作業 カッタ	
●穴掘り作業(つるはしの代用に) スコップ	
●目荒し作業 ビシャン	シャンク
●突き固め作業 ランマ	シャンク



●スポイト(穴あけ後の切り粉除去用)

ゴム球式

ジャバラ式

ご使用前の点検

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

⚠警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ（mm²）	最大の長さ（m）
1.25	10
2	15
3.5	30

●使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電源で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などに相談してください。そのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

工具の取付け・取りはずし

⚠警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

ドリルビット、ブルポイントなどの工具は、当社指定の別売部品を使用してください。
（P 7 、8「別売部品」参照）

取付け

1 工具のシャンク部をきれいに拭き、グリースまたは機械油を塗布します。

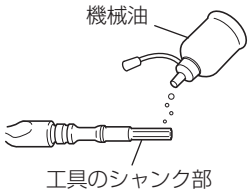
2 プッシュボタンを押し、リテーナ（工具押さえ）を矢印①の方向に少し上げて、リテーナの端部をプッシュボタンに引っ掛け、プッシュボタンを戻らなくします。

3 プッシュボタンから指をはなし、さらにリテーナを矢印①の方向に上げます。

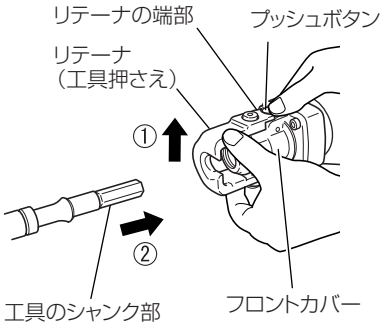
4 工具のシャンク部をフロントカバーの六角穴へ一杯にさし込みます。

5 リテーナをもとに戻して工具が抜けないようにします。
確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認してください。

1



2 3 4

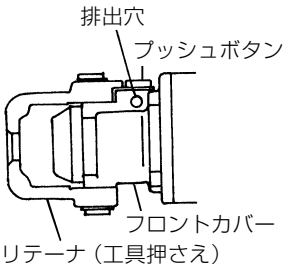


取りはずし

プッシュボタンを押し、リテーナを矢印①の方向に上げて、工具を抜き取ります。

プッシュボタンの動きが悪いとき

プッシュボタンの動きが悪いときは、排出穴より針金などで内部のごみを除去してください。
その後、お手持ちの潤滑油を排出穴に注油してプッシュボタンを数回押し、動きを良くしてください。



穴をあける

コンクリート、アンカ下穴の穴あけ作業

⚠警告

- **工具・ストッパの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。**
  工具が鉄筋などに当たると急に止まり、その反動で機体が回ろうとします。

⚠注意

作業の際、機体を無理に押しつけないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。

1 工具を取付ける

P10の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2 必要に応じてストッパを取付ける

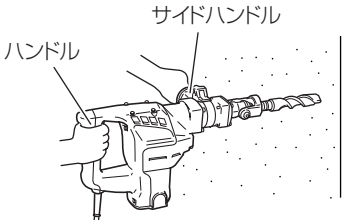
①ちょうボルトをゆるめ、取付け穴にストッパを通します。
②所定の穴深さになったときストッパが材料に突き当たる位置に移動させ、ちょうボルトを時計方向に回して固定します。

注 ちょうボルトを紛失しないように、ストッパを使用しない場合でも、ちょうボルトをしっかり締めてください。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

4 スイッチを入れる

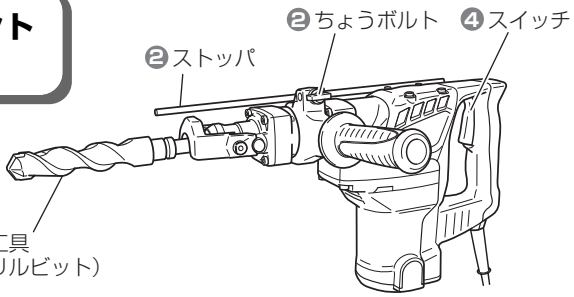
穴あけ位置に工具の先を当ててからスイッチを入れます。



スリップクラッチ機構について

この機構は、作業中の本体に急激に大きな負荷がかかったとき、モーターとビットの間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかることを防止します。

注 **スリップクラッチが作動し、ビットの回転が停止した場合には、すみやかにスイッチを切ってください。**



ハツリ・破砕する

コンクリートのハツリ･破砕･溝掘り･角出し･切断･はがし作業

⚠警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

作業の際、機体を無理に押しつけないでください。
反動を押さえる程度に押しつけて作業してください。無理に突きさしたり、押さえつけても作業の効率は上がりません。
床面のハツリ・破砕の際には、機体の自重を利用し、反動を押さえる程度に押しつけて作業してください。

注 ちょうボルトを紛失しないように、ストッパを使用しない場合でも、ちょうボルトをしっかり締めてください。

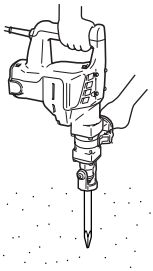
❶ 工具を取付ける

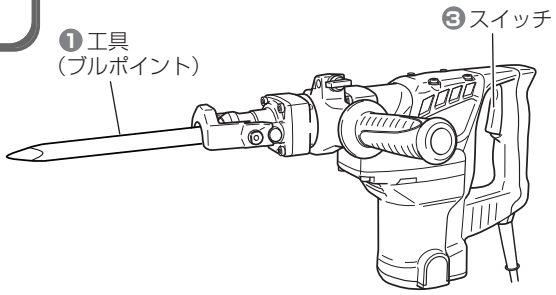
P10の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。
コールドチゼルやカッタ、スコップを使用するときは、工具先端を作業しやすい向きにして取付けてください。

❷ 電源プラグをコンセントにさし込む

❸ スイッチを入れる

ハツリ・破砕する位置に工具先端を当ててからスイッチを入れます。





アンカの穴あけ・打ち込み作業方法

アンカの穴あけ・打ち込み作業にはアンカアダプタ・テーパシャンクアダプタなどのアンカ用別売部品を使用してください。

1 自穿孔アンカをアンカアダプタに取付けます。

2 スイッチを入れ、自穿孔アンカで下穴をあけます。
穴をあけ始めるときに機体を少し傾けると、位置決めが容易になります。

3 スポイトで掃除した後、自穿孔アンカの先端にプラグを付け、手ハンマなどで打ち込みます。

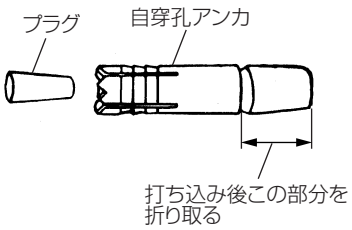
4 打ち込み後はドリフトキーで自穿孔アンカを分離します。

5 手ハンマなどで自穿孔アンカのテーパー部を折り取ります。

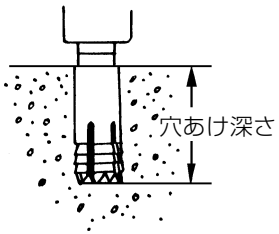
⚠注意

折り取ったテーパー部が飛ぶので、折り取る方向に注意してください。

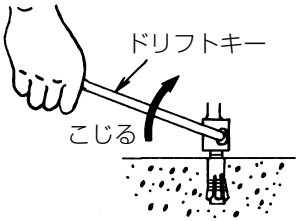
1



2



4



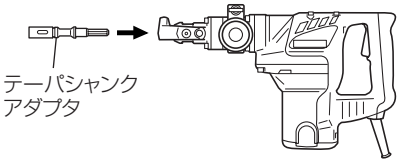
5

テーパシャンクアダプタの使い方

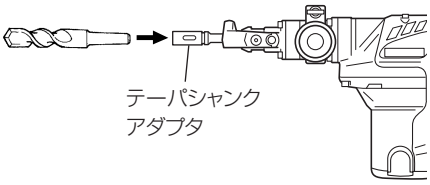
別売部品のテーパシャンクアダプタを取付けますとテーパシャンクタイプのドリルビットを使用できます。

1 テーパシャンクアダプタを機体に取付ける

P10 の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い取付けます。



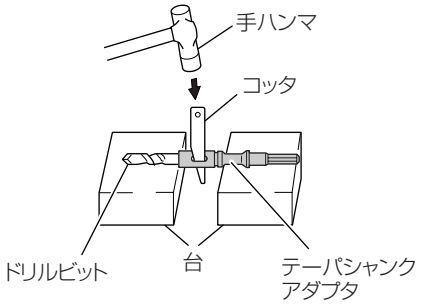
2 ドリルビットをテーパシャンクアダプタにさし込む



3 以下P11 の❷からの手順に従い作業する

4 ドリルビットをテーパシャンクアダプタから取りはずす

テーパシャンクアダプタの長穴部分にコッタを入れ、コッタの頭を手ハンマでたたいてはずします。



コアビットの使い方

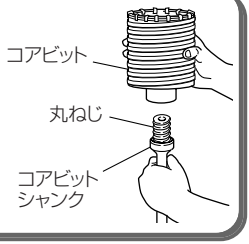
コアビット、センタピン、コアビットシャンクなどのコアビット用別売部品をご使用になりますと、大口径の貫通穴、止まり穴をあけることができます。

⚠警告

コアビットシャンク、ガイドプレート、センタピンの取付け、取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

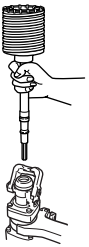
1 コアビットシャンクにコアビットを取付ける

丸ねじ部に油を塗っておくと、分解するときにゆるみやすくなります。



2 コアビットシャンクを機体に取付ける

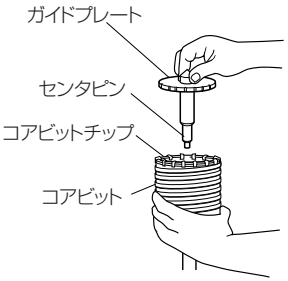
P10の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い取付けます。



3 ガイドプレート、センタピンをコアビットにさし込む

①ガイドプレートにセンタピンを奥までさし込みます。

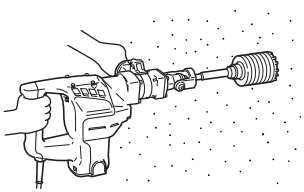
②ガイドプレートの凹部をコアビットチップに合わせてはめ込み左・右どちらかに回します。



4 電源プラグをコンセントにさし込む

5 スイッチを入れる

あけたい穴の中心にセンタピンを合わせ、
穴あけを開始します。



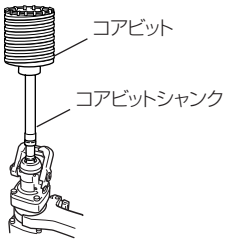
6 位置決めの完成

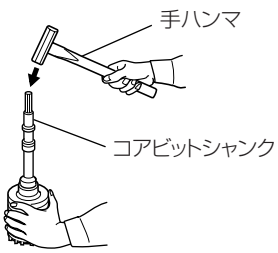
約 5 ㎜穿孔すると位置決めの溝が完成します。コアビットからセンタピン、ガイドプレートを取りはずして、完成した位置決めの溝に合わせて穴あけをすすめます。

7 コアビットを取りはずす

①コアビットシャンクを機体に挿入したまま上向きにして 2 ～ 3 回無負荷運転で打撃します。

②機体からコアビットシャンクをはずしてコアビットを手で持ち、コアビットシャンクの頭を手ハンマで 2 ～ 3 回強打すると、丸ねじがゆるみ、取りはずすことができます。





保守・点検

⚠警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっていますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっています。従って、長期間無給油で使用できます。
しかし、機体を長持ちさせるために 6 ヶ月ごとにグリースの交換をしてください。

注 **機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を著しく損なう恐れがありますので、必ずグリースの交換はお買い求めの販売店に依頼してください。**

●工具の点検

摩耗した工具を使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに研磨するか新品と交換してください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は工具本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 **ごみやほこりを排出するため、使用後は、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。**
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

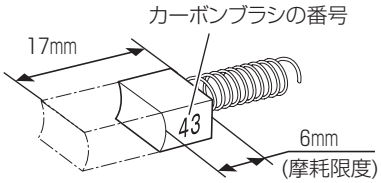
注
- **お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。**
- **軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。**
- **温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。**

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（6㎜ぐらい）になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

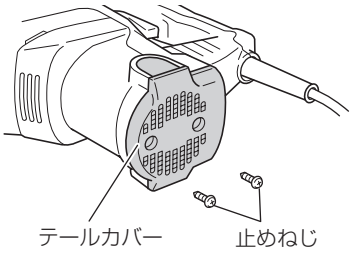
注 **新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず図示の番号（43）の日立カーボンブラシを使用してください。**



●カーボンブラシの交換方法

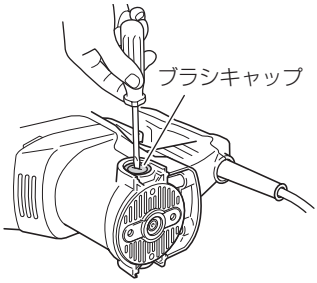
1 テールカバーをはずす

止めねじをゆるめ、テールカバーをはずします。



2 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回してはずします。

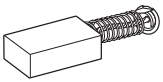


3 カーボンブラシを取出す

4 新しいカーボンブラシを取付ける

①ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。

②ブラシキャップをしっかりと締め、テールカバーを 2 本の止めねじでしっかりと取付けます。



ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

WEBにアクセス

右の QRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号（品川インターシティ A 棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

部品コード　C99177403 F